

シネマ

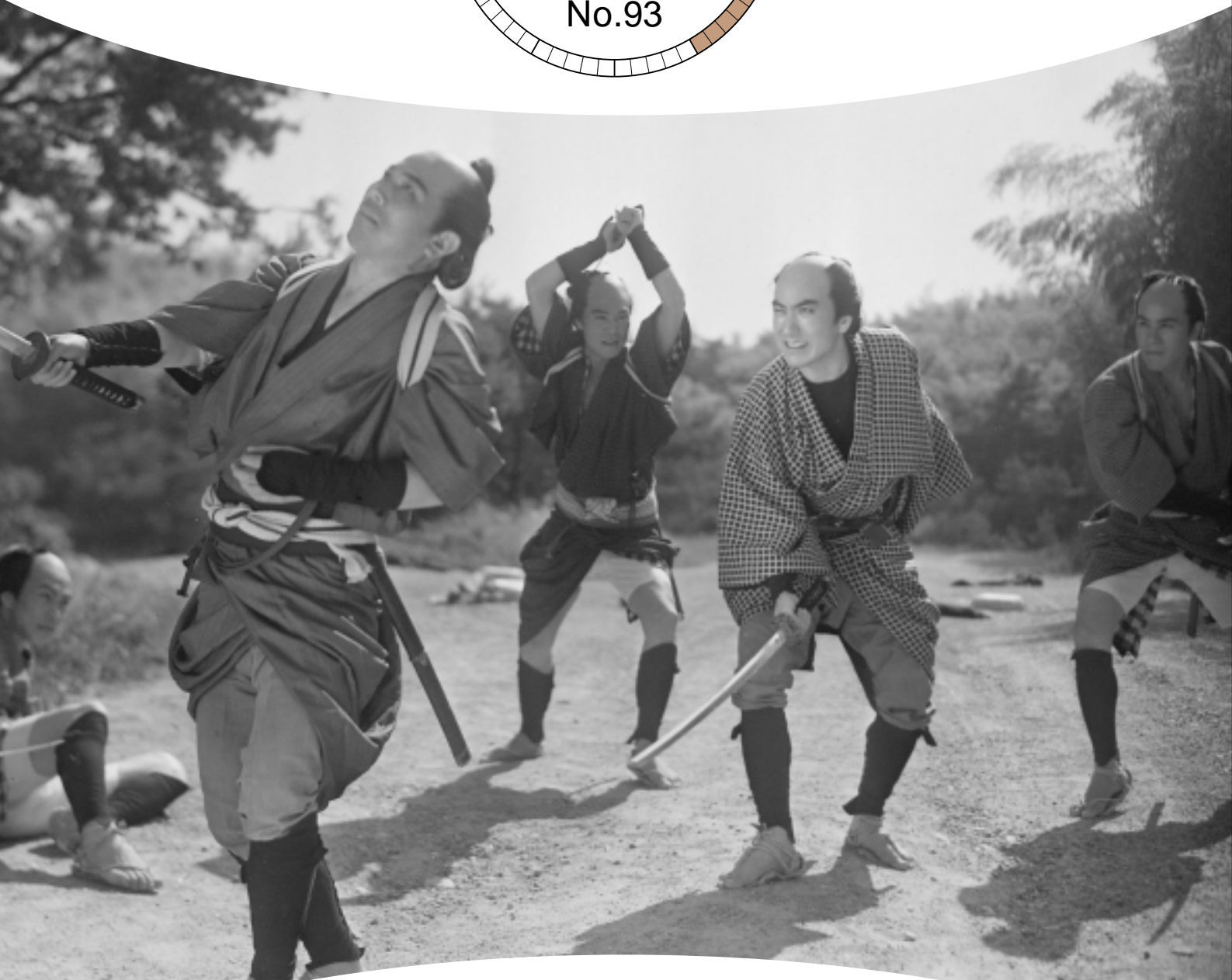
Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

Ciné-là



fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟
=FIAFは映画の保存を目的とする
国際団体です。



「続清水港」

F I A F 加盟記念特別企画

第1部

巨匠たちの幻の映画

東京国立近代美術館
フィルムセンター
コレクション

第2部

木村栄文の世界

福岡の映像
再発見

収蔵映画特集

ベトナム映画 特集

昨年国交30周年を迎えた日本とベトナム。
これを記念して、近年のベトナム映画の秀作を上映。

収蔵映画特集

現代台湾映画 特集

近年の台湾映画の傑作・秀作を
セレクトして上映。

収蔵映画特集

田坂具隆 監督特集

情感溢れる作風により、
文芸映画の巨匠として
知られる田坂具隆監督の
代表作の特集。



「乳母車」



巨匠たちの幻の映画

～東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクション～

会期: 4月28日(水)～5月5日(水) 休館日・休映日除く

観覧料: 600円(大人)500円(大学生・高校生)400円(中学生・小学生)

共催: 東京国立近代美術館フィルムセンター

定員制・各回入替制。チケットはすべて当日券。前売り券はありません。福岡市在住の障害者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳の提示が必要です。)

フィルム・アーカイブの歴史は映画発掘の歴史とも言えます。今回は、復元された貴重な映画をはじめ、スクリーンではめったに見ることのできない映画を特集します。

『瀧の白糸』弁士・楽団付き上映、および『リュミエール・プログラム』ピアノ伴奏付き上映(シンポジウム含む)につきましては往復はがきによる申込み制で、観覧料も異なりますのでご注意ください。

四十八人目・小平太何処へ行く 4月28日(水)14:00 / 5月5日(水・祝)17:00  赤穂浪士の盟約に加わり、同志として積極的に行動しながら、討ち入り直前となって脱落した実在の人物・毛利小平太を描く。同志の掟と美しい娘・お篠への思いとの間で苦悩する小平太を、歌舞伎出身の阪東が好演。 1936年/16ミリ/モノクロ/92分/第一映画 監督:伊藤大輔/主演:山田五十鈴、阪東好太郎、松本泰輔	限りなき前進・改編版 4月28日(水)16:30 / 5月1日(土)14:00  松竹の小津安二郎が原案を書き日活の内田吐夢が監督をするという、専属制があたりまえだった当時の日本映画界にあっては画期的な作品。定年間近の老サラリーマンの不安を、ユーモアと狂気で描いた問題作。 1937年/35ミリ/モノクロ/78分/日活多摩川 監督:内田吐夢/出演:小杉勇、江川宇礼雄、轟夕起子	姿三四郎・最長版 4月28日(水)19:00 / 5月5日(水・祝)11:00  黒澤明監督のデビュー作。富田常雄の同名大衆小説が原作。一人の青年が柔道を通して成長していく様を描く。従来79分の短縮版しか残っていなかったが、近年ロシア・ゴスフィルムフォンドで欠損部分を含む同作品が発見された。 1943年/35ミリ/モノクロ/91分/東宝/監督・脚本:黒澤明/出演:藤田進、大河内傳次郎、轟夕起子ほか
女人哀愁 4月29日(木・祝)11:00 / 5月2日(日)17:00  戦前の作品であるにもかかわらず、女性の自立をテーマとした成瀬監督の意欲作。親の決めた縁談に従って裕福な家庭に嫁いだヒロインが、周囲の尊大さに堪え忍ぶ。そしてついに自分を直視し、ある決心をする。長い間フィルムでの上映ができなかった作品。 1937年/35ミリ/モノクロ/74分/P.C.L.映画製作所・入江プロダクション/監督・脚本:成瀬巳喜男/主演:入江たか子、堤真佐子、神田千鶴子	カルメン故郷に帰る・白黒版 4月29日(木・祝)14:00 / 5月4日(火・祝)17:00  この白黒版は京都文化博物館で保存されていたもの。カラー版には存在しない場面や異なる演出もあるが、映画史から忘れられ、ほとんど上映の機会がなかった。放蕩娘の里帰りに大騒ぎする村人たち、困惑する父。木下監督の代表作。 1951年/16ミリ/モノクロ/85分/松竹大船 監督・脚本:木下恵介/出演:高峰秀子、佐野周二、笠智衆	泣き濡れた春の女よ 4月29日(木・祝)17:00 / 5月4日(火・祝)11:00  渡り者の坑夫と流れ者の女たち。北海道の炭鉱の町を背景に、そこに生きる男と女の愛の葛藤が描かれる。また子供好きの清水監督らしく、子役の存在が強い印象を残す。清水宏監督初期の傑作メロドラマ。 1933年/16ミリ/モノクロ/96分/松竹キネマ 監督:清水宏/主演:岡田嘉子、大日方傳、村瀬幸子
続清水港・清水港 代参夢道中 5月1日(土)11:00 / 5月5日(水・祝)14:00  マキノ正博監督、片岡千恵蔵主演による痛快活劇。当時の浪曲界で随一の人気だった廣澤虎造が競演し、得意の浪曲をたっぴりと聞かせてくれる。森の右松の“琴平代参”を一種のタイムスリップ物に仕立てた異色作。 1940年/16ミリ/モノクロ/89分/日活 監督:マキノ正博/出演:片岡千恵蔵、廣澤虎造、轟夕起子	新雪 5月1日(土)17:00 / 5月4日(火・祝)14:00  進歩的な教育理念を持つ国民学校の訓導と勝気な女医の恋を爽やかに描き、当時大ヒットを記録した青春映画。長らくフィルムが存在しなかったが、ロシア・ゴスフィルムフォンドで発見された。 1942年/35ミリ/モノクロ/74分/大映/監督:五所平之助/出演:水島道太郎、月丘夢路、高山徳右衛門	五重塔 5月1日(土)17:00 / 5月4日(火・祝)14:00  幸田露伴の小説を原作に、五重塔建立までの工匠の奮闘を描く。溝口健二『残菊物語』のコンビ、花柳章太郎、森赫子をはじめとする新生新派が出演。このプリントもロシアで発見された。 1944年/35ミリ/モノクロ/64分/大映 監督:五所平之助/出演:花柳章太郎、森赫子、柳永二郎

サイレント映画・弁士楽団付き上映「瀧の白糸」5月2日(日)14:00



巨匠・溝口健二監督のサイレント期の傑作。原作は泉鏡花の「義血侠士」で、のちに「瀧の白糸」という演目で上演され、新派の代表的狂言の一つとなっていた。若い学生に惚れ込んだ水芸の娘芸人の物語。この作品は不完全なフィルムしか残っていなかったが、フィルムセンターや、京都文化博物館などの努力によって最良の状態にまで復元された。シネラでは2001年3月以来の再演となる。

1933年/35ミリ/モノクロ/サイレント/102分/入江プロダクション/監督:溝口健二
出演:入江たか子、岡田時彦、菅井一郎

弁士:澤登翠 / 故松田春翠門下。弁士としてのキャリアは30年を超える。海外での公演も行。1990年日本映画ペンクラブ賞、2000年山路ふみ子文化財団特別賞、2003年芸術祭優秀賞受賞。
楽団:カラード・モトーン / 無声映画の生演奏を行うために結成された専属合奏団。澤登翠との共演は各地で好評を得ている。

観覧料:どちらも1,000円(往復ハガキによる申し込みが必要です。)

(申込み方法)往復ハガキに『瀧の白糸』観覧希望、もしくは『リュミエール・プログラム』観覧希望とご記入いただき、郵便番号、住所、氏名、電話番号をお書き添えの上、裏表紙の総合図書館住所までお申し込みください。応募多数の場合は抽選となります。応募締め切りは4月10日まで。お一人様ハガキ一枚とさせていただきます。

前売り券はございません。障害者および高齢者割引はございません。ホール開場は13:00より当日は当選ハガキをご持参の方のみ、映像ホール入口にて受付いたします。チケット販売はいたしませんのでご注意ください。



木村栄文の世界

～福岡の映像再発見～

会期: 5月8日(土)・5月9日(日) 共催: RKB毎日放送

両日とも無料でご観覧いただけます 定員制・各回入替制 定員を超えた場合はご入場できません

対談「番組制作の裏側」

5月9日(日)14:00～

木村栄文(予定)

× (元RKBプロデューサー)

栗村皓司

(九州造形短期大学講師)
元RKB編集者

飛べやオガチ

5月8日(土)17:00

前田健一という老人の、「人力ヒコキ」への挑戦の記録。昭和43年、福岡板付飛行場での失敗。昭和44年の目達原飛行場での15メートルの成功。昭和45年、目達原飛行場での失敗など、「青春の狂気」とも呼べる前田氏の挑戦を描く。
1970年/モノクロ/ビデオ/57分/RKB/出演:木村栄文

記者ありき 六鼓・菊竹淳

5月8日(土)11:00

犬養首相らが暗殺された昭和7年の5・15事件に際し、久留米十二師団の執拗な脅迫に抗して、痛烈な軍部批判の論陣を張った福岡日々新聞記者・菊竹淳(1880～1937)。その菊竹淳に俳優・三國連太郎が扮し、孤高の人物像を描くドキュメントドラマ。
1977年/カラー/ビデオ/86分/RKB/出演:木村栄文

桜吹雪のホームラン 証言・天才打者 大下弘

5月9日(日)11:00

戦後の人々のすさんだ心を慰めた二大スター。それは、美空ひばりと大下弘だった。故・三原修に「日本のプロ野球から打撃人を5人選ぶなら、川上・大下・中西・長島・王。一人だけだった大下だ」と言われた男、大下弘とは...。
1989年/カラー/ビデオ/87分/RKB/出演:木村栄文

鳳仙花 ～近く遙かな歌声～

5月8日(土)14:00

民族の抵抗歌として知られる「鳳仙花」、日本への諷刺に満ちた「アリラン」など韓国の流行歌の数々にスポットをあて、日韓歌謡界各氏へのインタビューを交えながら、韓国・朝鮮の人々が歌い継いだ曲を通して民族の想いの深さを描く。
1981年/カラー/ビデオ/78分/RKB/出演:木村栄文

むかし男ありけり

5月9日(日)15:00

福岡出身の作家・壇一雄がボルトガルのサンタクルスについてのエッセイ「来る日去る日」でこう語った。「短い一年間にこれほど集約的で、これほど生一本な友愛をまともにもあびた時期はほかにない」と。このサンタクルスの地を俳優・高倉健が再訪。高倉健の旅を通して壇一雄の人生を描く。
1984年/カラー/ビデオ/91分/RKB/出演:木村栄文

5月9日(日)14:00～

木村栄文(予定)

× (元RKBプロデューサー)

栗村皓司

(九州造形短期大学講師)
元RKB編集者

1970年/モノクロ/ビデオ/57分/RKB/出演:木村栄文

1989年/カラー/ビデオ/87分/RKB/出演:木村栄文

1981年/カラー/ビデオ/78分/RKB/出演:木村栄文

1984年/カラー/ビデオ/91分/RKB/出演:木村栄文

収蔵映画特集 観覧料: 500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

定員制。各回入替制。チケットはすべて当日券。前売り券はありません。福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です)

収蔵映画特集 現代台湾映画特集 会期: 4月1日(木)~4月11日(日) 近年の台湾映画の傑作・秀作をセレクトして上映。 休館日・休映日除く

Table with 4 columns: Title (e.g., 熱帯魚, チュンと家族), Date/Time, Description, Director/Year/Length/Origin. Includes titles like 'Tropical Fish', 'Ah Chung', 'Wolves Cry under the Moon', etc.

収蔵映画特集 情感溢れる作風により、文芸映画の巨匠として知られる田坂具隆監督の代表作の特集。

田坂具隆 監督特集

会期: 5月12日(水)~5月16日(日) 休館日・休映日除く

Table with 4 columns: Title (e.g., 五番町夕霧楼, 冷飯とおさんとちゃん), Date/Time, Description, Director/Year/Length/Origin. Includes titles like 'The Cabbie', 'Betelnut Beauty', 'A One & A Two', etc.

収蔵映画特集 ベトナム映画特集 会期: 5月19日(水)~5月29日(土) 昨年国交30周年を迎えた日本とベトナム。これを記念して、近年のベトナム映画の秀作を上映。 休館日・休映日除く

Table with 4 columns: Title (e.g., 黒いサボテン, 遙かな旅), Date/Time, Description, Director/Year/Length/Origin. Includes titles like 'The Black Cactuses', 'The Long Journey', 'Gone, Gone, Forever Gone', etc.

シネラ

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

Ciné-là



4月 上映スケジュール

1	木	【14:00】熱帯魚		
2	金	【14:00】チュンと家族	【19:00】国道封閉	
3	土	【11:00】フラワーズ・オブ・シャンハイ	【14:00】天馬茶房	【17:00】沙河悲歌
4	日	【11:00】運転手の恋	【14:00】ヤンヤン 夏の思い出	
5	月		休館日	
6	火		休映日	
7	水	【14:00】ヤンヤン 夏の思い出		
8	木	【14:00】檳榔売りの娘	【19:00】運転手の恋	
9	金	【14:00】沙河悲歌	【19:00】天馬茶房	
10	土	【11:00】熱帯魚	【14:00】国道封閉	【17:00】チュンと家族
11	日	【11:00】檳榔売りの娘	【14:00】フラワーズ・オブ・シャンハイ	
12	月			
27	火			
28	水	【14:00】四十八人目	【16:30】限りなき前進	【19:00】姿三四郎
29	木	【11:00】女人哀愁	【14:00】カルメン故郷に帰る・白黒版	【17:00】泣き濡れた春の女よ
30	金			休館日

現代台湾映画特集

映像ホール・シネラは
施設整備・フィルムの定期点検のため休映します。
(4月12日～4月27日)

福岡市総合図書館は
特別整理・点検のため、休館します。
(4月12日～4月22日)

5月 上映スケジュール

1	土	【11:00】続清水港	【14:00】限りなき前進	【17:00】新雪、五重塔
2	日	【14:00】瀧の白糸 弁士・楽団付き上映	【17:00】女人哀愁	
3	月	【14:00】リュミエール・プログラム ピアノ伴奏付き上映 + シンポジウム		
4	火	【11:00】泣き濡れた春の女よ	【14:00】新雪、五重塔	【17:00】カルメン故郷に帰る・白黒版
5	水	【11:00】姿三四郎	【14:00】続清水港	【17:00】四十八人目
6	木		休館日	
7	金		休映日	
8	土	【11:00】記者ありき	【14:00】鳳仙花	【17:00】飛べやオガチ
9	日	【11:00】桜吹雪のホームラン	【14:00】対談:木村栄文×栗村皓司	【15:00】むかし男ありけり
10	月		休館日	
11	火		休映日	
12	水	【14:00】冷飯とおさんとちゃん		
13	木	【14:00】乳母車	【19:00】五番町夕霧楼	
14	金	【14:00】五人の斥候兵	【19:00】土と兵隊	
15	土	【11:00】五人の斥候兵	【14:00】五番町夕霧楼	【17:00】土と兵隊
16	日	【11:00】乳母車	【14:00】冷飯とおさんとちゃん	
17	月		休館日	
18	火		休映日	
19	水	【14:00】黒いサボテン		
20	木	【14:00】遙かな旅	【19:00】祈り	
21	金	【14:00】ハノイ、1946年冬	【19:00】歳月	
22	土	【11:00】砂のような人生	【14:00】アパートメント	【17:00】朝よ、こないで
23	日	【11:00】グアバの季節	【14:00】黒いサボテン	
24	月		休館日	
25	火		休映日	
26	水	【14:00】朝よ、こないで		
27	木	【14:00】グアバの季節	【19:00】アパートメント	
28	金	【14:00】歳月	【19:00】砂のような人生	
29	土	【11:00】ハノイ、1946年冬	【14:00】祈り	【17:00】遙かな旅
30	日		自主上映	
31	月		休館日	

幻の映画

田坂良隆監督特集

ベトナム映画特集

インフォメーション

ビデオライブラリーは4月～5月までお休みします。

多くの方々に図書館の資料を活用していただくために、6月からビデオテープの館外貸出を実施することになりました。CDやカセットブックは1人2点まで、ビデオテープについては1点の貸出を行う予定です。

ビデオライブラリーでのビデオテープやCDのブースでの提供は老朽化に伴い3月末をもって終了致します。長い間ご利用いただきありがとうございました。

お休みの期間中は、貸出実施に向けた準備を行います。準備中、ご迷惑をおかけ致しますがよろしく願います。なお、貸出中のCDの返却は4月以降も受け付けます。

シネラニュース送付のご案内

定期購読ご希望の方に毎月シネラNEWSをお届けしております。購読を希望される方は、平成16年6月号～平成17年4月号までの郵便切手(90円×11ヶ月)を同封の上、下記宛先へお申ください。

宛先:
〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1 福岡市総合図書館 映像資料課

ビデオ編集技術研究室のご案内

ビデオ研究室では、家庭で撮影されたビデオ(Hi8・DV)や各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用3時間迄) 詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

団体の自主上映について

主催 / 福岡映画サークル協議会(TEL781-2817)
*自主上映の詳細については、直接主催者にお問い合わせください。

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄:
西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス:
*天神～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間:昼間で約20分)

*博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間:昼間で約25分)

*福岡タワー南口バス停から徒歩3分



いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話:733-3333)に直接お問い合わせください。

公共交通機関ご利用のお願い

駐車場は図書館利用者の共用であり、映像ホール専用の駐車場はありません。駐車スペースに限りがあり、常時混雑しておりますので長時間の駐車はご遠慮いただいております。できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。土日祝日のご利用や1日に複数回の映画をご覧いただく場合などは、特にご協力をいただきますようお願いいたします。

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表) 092(852)0600 映像資料課 092(852)0608 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>

デザイン / 株式会社ホワイトスペース 印刷 / 株式会社修文堂印刷



古紙配合率100%再生紙を使用しています。